



持続可能な社会の構築に向けた学校現場での 教育実践とその研究

教育学研究科 教授 松本 一郎

松本研究室では過去19年にわたり地域の小学校を中心に幼稚園・保育所、中学校、高等学校において、特に野外学習支援を通じた自然環境教育とその研究に力を注いできました。特に、理科授業や総合的な学習の時間を中心に、従来学校で学ぶ内容のうち「環境意識」についてそれを向上させるような、授業実践の研究・開発に尽力しています。幼稚園や保育所での泥団子実践（土壌教育）からはじまり、自然の恵みと災いの二面性を実際の大自然の中で学ぶ学習支援を行っています。

以上のような実践保育や授業を通して、児童・生徒に、地球環境の大切さ、人間社会の在り方・方向性などを自分事として実感してほしいと考えています。また、実感を伴った学びを通して、主体的に考え、行動できる人材が社会の中で増えてほしいと願っています。また、定期的に松江市環境フェスティバルのような市民が学べる場においても、学生・院生とともに出展し、日頃の教育・研究成果の普及に努めています。

